

コロナ禍自粛期間中のスクエアダンス座学講座（その1）

2020年7月

越谷SDC 辻田満

プロローグ（座学講座開設に当たって）

2019年12月中国武漢から端を発した新型コロナウイルスの感染は瞬く間に世界中に蔓延しパンデミックとなり私たちを震撼させました。突如として「3密」の世界は厳禁となり2020年2月下旬頃から全てのスクエアダンス活動は一斉に自粛となり現在に至っております。今まではスクエアダンスはみなで手を取りあい、協力しながら踊る、コミュニケーションダンスという、素晴らしい特長が誇りでした。しかしこの素晴らしい特長は突然コロナ禍においてソーシャルディスタンス上は短所として受け取られるものとなってしまいました。これからいったいスクエアダンスはどうなるのかと多くの愛好者は只々心配するだけです。今こそスクエアダンスの真価が問われる時なのです。

新型コロナウイルスのような感染症は今始まったことではありません。人類の歴史はウイルスとの戦いの歴史でもあるのです。20世紀のパンデミックだけでも1918年スペインかぜ（死者数2000～5000万人）、1957年アジアかぜ（100～400万人）、1968年香港かぜ（100～400万人）が挙げられます。また、最近では2002年SARS、2012年MERSなどが記憶に新しいと思います。

スクエアダンスは17世紀の初頭にヨーロッパからアメリカに移住した人々が、出生地のダンス（コントラダンスやカドリールなど）を変化させて作り上げたのがスクエアダンスの元祖と言われております。戦後間もなく、今踊られている意外性と都会的なセンスを加味したモダンスクエアダンスに改良されてきました。私たちが今楽しんで知るスクエアダンスは少なくとも300年近い歴史あるレクリエーションなのです。すなわちスクエアダンスは300年の歴史の中で何度も感染症の洗礼を受けながらも今なおおとして世界中で脈々と楽しまれ続けられている事実があることを知って下さい。

もちろん、現時点のような感染が終息していない状況下においてはクラブ例会再開に当たっては特段の注意が必要だと思います。治療薬やワクチンが開発され必ずコロナ禍は沈静化する 때가来ます。

再び以前のようにスクエアダンスを思い切って楽しく踊れる日が必ずやってきます。それまでの辛抱です。新型コロナウイルスに負けることなくこの素晴らしいスクエアダンスを次の世代に繋げて行きましょう！

さて、今までは多くのスクエアダンサーはダンスの動作を習得しこれらの動作を正確に踊りこなすことに達成感と喜びを感じていたことと思います。しかし、突然のコロナ禍によってその動作習得の実技の機会が失われてしまいました。そこで、此の実技の機会が失われた期間に「スクエアダンスの組み立ての仕組み（コレオグラフィー）」を少し座学で知識として学んでみませんか？おそらくこの座学で学んだ知識が例会が再開され再び踊れる機会が訪れた時に大きな喜びの一つとして加味される事となるでしょう。

（第1話）コレオグラフィー概説

1. F A S R（フェザー）とは

コレオグラフィーとはダンスの組み立てのことを称して呼ばれます。組み立ての仕組みを学ぶためにはダンスの組み立てを部分的にとらえることが必要です。セットのいろいろな状態を示すための四つの要素があります。その四つの要素とは以下の4つです。

- *フォーメーション（F）
- *アレンジメント（A）
- *シークエンス（S）
- *リレイションシップ（R）

この四つはF A S R（フェザー）と呼ばれます。この四つの文字を使えばいかなるセットアップも完璧な記述が可能です。これらの用語が良く分かっていないと話がめんどろになり細かな事が通じなくなり、この4文字を理解することこそ、スクエアダンスの組み立ての仕組みを理解する事につながるのです。

2. シンメトリック

スクエアダンスの組み立てにおける最大の制限はシンメトリック

(対称形) です。FASRは対称の組み立てについてのみ使われます。スクエアダンスの動きのほとんど全てが対称です。

対称の原理により、対称のセットでは一人のダンサーからセットの中央を通る線を引くと対角のダンサー、あるいはミラーイメージのダンサーに必ず当たります。シンメトリックの「動き」はいかなるときも対称であるように命じられます。

シンメトリックなダンスに限っていえばいつでも二人の女性と二人の男性との四人がどこで切った半分に居ます。残りの半分にはミラーイメージでその四人の反対の人々だけがいて、また各々の四人は正に相対する場所に居ます。



Zero Line

Zero Box

3. フォーメーション

フォーメーションはダンスの組み立てにおける骨格です。コーララブでは75以上のフォーメーションに名称を付けています。ある型の変化をも含めると数え切れない程フォーメーションが存在します。各々には並び方と顔の向きによりそれぞれハッキリとした特徴をもっています。それらの特徴の違いは図示できます。フォーメーションとはダンサーの幾何学的形と方向で構成されています。2×4で長方形に並んだ型はフェイシングライン・エイトチェインスルー・パラレルウェイブ・カラム等いくつかの一般的なフォーメーションを形作ります。フォーメーションは1). GEOMETRIC SHAPE (幾何学的形) と 2). DIRECTION (方向)で構成されます。例えば以下のような体型があります。

Eight Chain Thru

Right-Hand Columns

Right-hand 2-Faced Lines

Facing Lines

Completed DPT

Double Pass Thru

1/4 Tag

3/4 Tag

Trade By

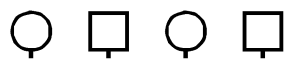
Parallel Right-hand Wave

4. フェイシングの方向

フォーメーションの特徴の一つである顔の向きは大事です。例えばたくさんのフォーメーションは2×4の長方形をもとにほんの少し顔の向きを変えるだけで作られます。このことは図にすれば良く分かります。フェイシングラインから単純な顔向きのコマンドによりウエイブ・エイトチェンスルー・ダブルパススルー・ツーフェイスライン・カラム・トレイドバイ等々が作れます。たくさんの右手使用のフォーメーションには対応する左手型があります。

昔からダンスを行っている人々は今だにフォーメーションの意味でポジションという言葉を使っています。このような混乱を避ける為コーラーラブではフォーメーション・ポジション・セットアップという言葉の使い方を公式に定めています。

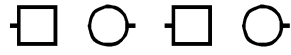
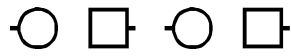
*フォーメーション:この用語はダンサーの顔の向きも合わせたセットの図形としての並び方を表します。代表的なフォーメーションの名を上げれば、フェイシングライン・エイトチェンスルー・トレイドバイ等々があります。



フェイシングライン



エイトチェンスルー

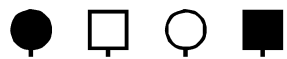


トレードバイ

* ポジション：この用語は一つのフォーメーションの中での特定の場所を指します。フォーメーションの各々保有する代表的ポジションを上げれば、例えばコンプリテッドダブルパースルーフォーメーションの場合はリーダーズ (■●)・トレイラーズ (□○)・アウトサイズ (■●)・インサイズ (□○) となります。例えばフェーシングラインフォーメーションの場合はエンズ (■●)・センターズ (□○)・となります。



コンプリテッドダブルパースルー



フェーシングライン

* セットアップ：この用語はある特別の形を指します。セットアップの明細を完全なものにするためにはFASRの考え方を必要があります。コーラーが普通承知しているセットアップの例を上げれば、ゼロボックス・ゼロライン・アクロスザストリートボックス・リードライトボックスです。



アクロスザストリートボックス



リードライトボックス

5. アレンジメント

この用語はシンメトリックフォーメーションで使われます。6つの異なる男女の組み合わせのことです。この概念を理解するにはフェイスングライン・フォーメーションが良い例です。各々のラインにある二つのカップルは男が左・女が右のノーマルアレンジのカップルか、あるいはハーフサッシュェイカップルがあります。ボーイだけ、あるいはガールだけのカップルを作りボーイまたはガールが右側のカップルとすることも出来ます。そしてボーイがセンターガールがエンドあるいは逆の型とすることも出来ます。これらがフェイスングライン・フォーメーションでの考え得る6つのアレンジメントとなります。

アレンジメントの名称を学ぶ時、ゼロライン・ゼロボックスは二つの意味を持つことを学ばなければなりません。二つの意味を見分けることは通常前後関係により出来ます。Zero Line・Zero Boxと大文字で書くときは1 P 2 Pあるいはボックス1-4とそれぞれ同義です。zero line・zero boxを小文字で書くときはアレンジメントの領域での話でパートナーとの関係がノーマルであることのみを示します。したがって、Zero Line はzero lineであるが逆は真ではありません。アレンジメント（配列におけるBOY (B) とGIRL (G) の組み合わせ)は以下の6通りの組み合わせがあります。

0	B G B G	1 / 2	G B G B	1	B B G G
2	G G B B	3	B G G B	4	G B B G

6. シイクエンスステイト

男女の順列順序を表す言葉をシイクエンスステイト(シイクエンスの状態)と言います。セットが特別なフォーメーションやアレンジメントのときであっても、シイクエンスステイツによってセットが定義されます。シイクエンスステイツは男女の順列順序を一度に示す考え方です。

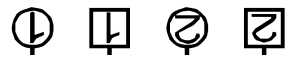
シンメトリックダンスに限っていえば、4つの(あるいは4つだけと言ってもいいだろう)シイクエンスステイツがあります。シンメトリックダンスにおいては1. 2. 3. 4. (あるいは4. 3. 2. 1.)という形だけが作られます。

1. 2. 3. 4. の順は時計回り(アウトオーダー)あるいは反時計回り(インオーダー)のいずれかになります。男性にインとアウトのシイクエンスがあり、女性にも同様に2通りの可能性があるので両者を合わせると2でなく4通りのシイクエンスステイツとなります。このことは下記ことより明らかです。

	男 性	女 性
1.	反時計回り「反」	反
2.	時計回り「時」	時
3.	反	時
4.	時	反



1. 男性反時計回り 女性反時計回り



2. 男性時計回り 女性時計回り

7. リレーションシップ

リレーションシップとはお互いのパートナー関係のことを表す定義です。お互いにとって各々パートナー・コーナー・ライトハンドレディー・オッポジットレディーの関係が定義できます。

4人の男性が4人の女性をパートナーに持つ B G B G の組み合わせは順列組み合わせで計算すると $4 \times 3 \times 2 = 24$ 通りになりますが、ミラーの法則を適用すると以下の8通りとなります。

- ①. 全ての男性が Partner(略記 Par)
- ②. 全ての男性が Right-hand Lady(略記 Rh)
- ③. 全ての男性が Opposite Lady (略記 Opp)
- ④. 全ての男性が Corner (略記 Cor)
- ⑤. Head の男性が Par, Side の男性が Opp
- ⑥. Head の男性が R.h, Side の男性が Cor
- ⑦. Head の男性が Opp, Side の男性が Par
- ⑧. Head の男性が Cor, Side の男性が R.h

以上、①～④は男女とも同じオーダーになっています。⑤～⑧は男性と女性のオーダーが異なっています。ここで、⑤～⑧の組み合わせで Ladies Chain を行うことにより、男女の ORDER がそろい、①～④の組み合わせとなります。

8. トータルセットアップ

ここまでのことで、FASRを使いセットを表現出来る事が分かりました。FASR表記上でのテクニカルイクイバレントの話しをする必要があります。これは、あるダンサーが別の所に居るとしてもFASRの取り扱いは同一の場合というものを教える事です。ヘッズスクエアスルー4とサイズスクエアスルー4の終えた形の間にはFASR上まったく違いはありません。

9. まとめ

要約すればFASRはダンスの組み立てを知る上での必要不可欠なコミュニケーションの道具です。また、FASRはダンスの組み立てを知る上でのコミュニケーションの道具であるばかりでなくダンスの記録を作るとしたら、それはFASRを今の自分と将来の自分とがコミュニケーションに使うことになります。経験の有無に関わらず、FASRに精通してさえいれば自身のダンス知識ダンスの分析を無駄にせずすみませす。FASRに精通し経験に裏打ちされた、フォーメーションやアレンジメントの取り扱い技術は自分自身の学習研究ばかりでなく他の人へ教えるときの助けとなります。

なお、本資料は2005年に私が日本スクエアダンス協会人材開発委員会の委員長としては監修した「クラブリーダー・スタッフ養成テキスト」に執筆した原稿に若干の加筆・修正を加えたものです。

参考文献：CALLERLAB「Curriculum Guide Line for Caller Training」